



五戸町勢要覽
GONOHE
TOWN PROFILE



Contents

1 町のすがた	7 行財政運営
2 町の歴史	8 住民協働・地域活動
3 生活環境	9 行政
4 産業振興	10 議会
5 保健・医療・福祉	11 施設・文化財
6 教育・文化	12 特産品

発刊によせて

本町は、平成16年の合併時に「新五戸町総合振興計画」を策定し、「みんなで創る活気あるまちごのへ」を将来像として、10年間にわたりまちづくりに取り組んでまいりました。

この間、我が国の社会経済状況は大きく変化し、町では急速な少子高齢化の進行が見られ、人口減少の克服、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成などが課題となっております。

このような状況の中、少子高齢化への総合的な取り組みを推進するとともに、魅力ある地域づくりの施策を重点的に展開して、町の将来像「人とまちの活力で未来を拓く、共創（協創）の郷ごのへ」を目指す、「第2次五戸町総合振興計画」を策定いたしました。

この町勢要覧は、未来へ向けてさらに発展していくために、新たな“活気”とともに、誇りの持てるまち（ふるさと）を創るための施策と、今日の町の姿の一部を紹介したものです。

住民と行政がともに進めるまちづくりのため、町民の皆様の町政に対するこれまで以上の積極的な御参加と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成二十七年九月
五戸町長 三浦正名



序論

豊かな自然環境に恵まれた五戸町では、先人たちの英知とたゆまぬ努力によって、地域の農業や歴史・文化を連綿と育んできました。

その恩恵は、豊かな自然の恵みとして、さらには交通の要衝としての賑わいや人と人との交流を通して、まちの活力として脈々と受け継がれています。

こうした中、“みんなで創るまちづくり第2章”となる新たなまちづくりでは、私たち一人ひとりが、厳しい社会環境を認識し、それを乗り越え、未来へ向けて本町の良さを継承し、農・商・工併進の町としてさらに発展していくまち（ふるさと）を住民とともに創っていく必要があります。

そこで、人とまちの有する様々な「活力」に視点を置き、今後10年後に暮らしたいまちの姿（将来像）を『人とまちの活力で未来を拓く、共創（協創）の郷 への』とし、未来へ向けてさらに発展していくために、新たな“活気”とともに、誇りの持てるまち（ふるさと）をともに創ることを目指します。



町のすがた



■位置

本町は、青森県の南東部に位置し、八戸市から西に15.5km、十和田市から南東に約12.5kmの距離にあります。

東は八戸市、西は新郷村、南は南部町、北は十和田市・六戸町・おいらせ町とそれぞれ接し、東西約20.7km、南北18.6kmにわたり広がる北東・南西方向に長いほぼ楕円形の形状を成し、総面積177.67km²を有しています。

■地勢

戸来岳に水源を發し太平洋に注ぐ五戸川と、新郷村温泉沢に水源を發し馬淵川に注ぐ浅水川の2本の川が、ほぼ平行して町を貫流しており、この2つの川を挟んで集落が形成されています。平坦部は、水利を得て水田が開け、奥羽山脈の東に發達した穏やかな丘陵地帯は畑や果樹園などに利用されています。

■気象

本町における気象の最も大きな特徴は、夏季に「ヤマセ」とよばれる冷湿な北東風が吹くことであり、このヤマセはしばしば低温・長雨を伴い、農産物に影響を及ぼすことがあります。

しかし、北東北に位置しながらも、年間を通して寒暖の差が比較的小さく、積雪が少ないなど穏やかな気候に恵まれています。



交通のご案内

- JR八戸駅から……車で20分
- 三沢空港から……車で50分
- 青森空港から……車で120分
- 八戸ICから……車で30分

町の歴史

本町に人々が定住したのは、数々の遺跡の発見から5千年以上前の縄文時代までさかのぼると考えられている。文治5年(1189)、甲斐国南部三郎光行が、軍功によって糠部(今の青森県三八・上北地方など)の五郡を授けられたのがいわゆる南部氏の始まりであり、この糠部地方が軍馬の育成に適していることから、九つの戸(牧場)に分け、さらに、東西南北に分けた四門九戸の牧場制が敷かれ、ここから五戸の地名が誕生したといわれている。史書に残る最も古い記述では、寛元4年(1246)、鎌倉幕府の執権、北条時頼が左衛門尉平盛時に下した知行状に「陸奥国糠部五戸」という記述が見られる。

当時、この糠部地方は南部氏が統治していたにもかかわらず、平盛時を地頭の代職に任命していることは、南部氏には属さず、幕府直轄地であり、また、糠部五戸とは、一つの集落名ではなく、田畑・牧野・郷を包含した広い地域名であって、永仁5年(1297)の五戸郷々の検注状(土地測量報告書)の五戸郷々に相当する地域(新郷・倉石・五戸・八戸市豊崎町・市川町といった戦前の1町7ヶ村)と推測されている。慶長以後南部氏に属し、地方の産業、経済、文化の要衝として、南部藩独自の通制の五戸代官所が置かれ、五戸通りは三戸郡下13ヶ村、北郡下(今の上北郡)15ヶ村、合わせて28ヶ村の司法、行政、警察権を統括し、藩政末期には1万4,170石を領していた。

明治22年4月、町村制施行により五戸村となり、大正4年11月に町制を施行して「五戸町」が誕生した。昭和30年7月五戸町、川内村及び浅田村が合併し新五戸町が誕生。さらに野沢村手倉橋、豊崎村豊間内の一部を編入。平成16年7月、倉石村を編入合併して現在に至っている。

古くから馬産地として知られ、米、りんご、野菜を基幹作物として葉たばこ、畜産等との複合経営による農業が基幹産業であるが、八戸地区新産業都市の指定を受けて以来、地蔵平工業団地に企業誘致を進め、農・商・工併進の町として発展の一途をたどっている。





生活環境



人と自然にやさしく、快適で安全・安心に暮らせるまち

本町の美しい景観と豊かな自然環境は、訪れる人や住民にやすらぎをもたらすだけでなく、将来へ引き継ぐべき貴重な財産です。

一方で、本町に暮らす誰もが安心して暮らせる生活環境の整備も必要となります。

本町では、これまでも産業振興や快適な生活環境整備の一環として、国道2路線をはじめ、県道9路線、町道542路線等の道路交通網や公共交通体系、上下水道、上市川団地や町営ひばり野団地等の住環境の整備に取り組むとともに、自然環境の保全や資源を大切にする循環型社会の構築等、人と自然にやさしい環境づくりに取り組んできました。

そのため、今後も町内の歴史的資源や豊かな自然の恩恵を維持し、次代へ継承していくための適正な土地利用や不法投棄の防止、環境に対する意識の向上等、住民・地域が一体となった自然環境への配慮が引き続き求められます。

また、居住地域や季節に関わりなく、“快適で安全・安心に暮らせるまち”を実現していくために、空き家対策をはじめ、コミュニティバス、ケーブルテレビ、消防・救急体制等、少子高齢化の進行する本町の人口構造に対応した日常生活の利便性や安全性の確保、町内外との交流、災害や事故から住民の大切な生命と財産を守ることなどを視点とした生活環境の基盤整備を引き続き進めていく必要があります。



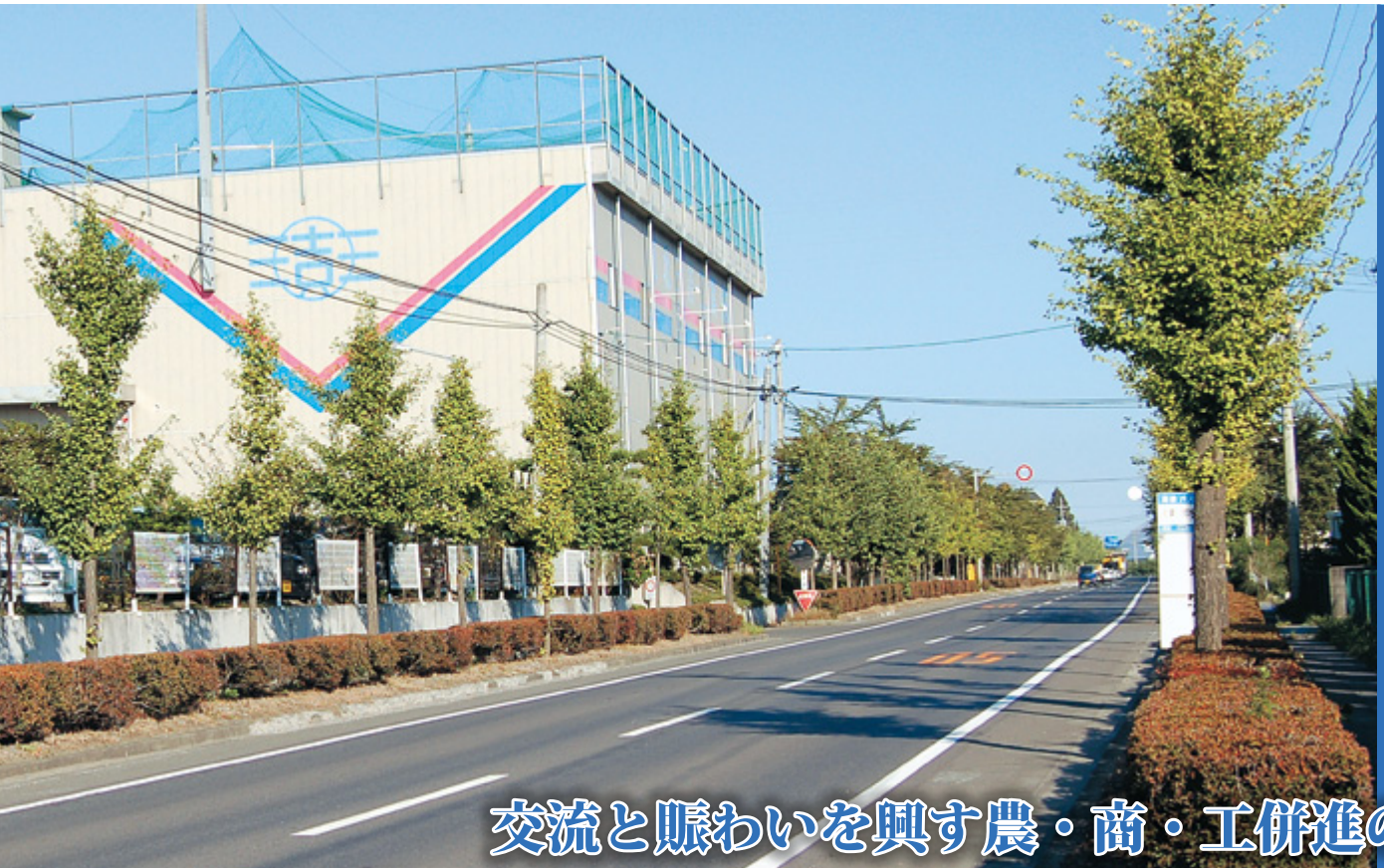
二本柳住宅



除雪作業



ゴミ0(なし)運動



交流と賑わいを興す農・商・工併進のまち



このへグリーンツーリズム じゅねもち作り



りんごジュース加工場



ビックリ夜店

経済規模の縮小、人口減少や人口構造の変化により、本町の賑わいや地域経済の低下が懸念されています。

こうした中で、本町の産業振興や新たな雇用機会の拡大を図る取り組みは、人口流出の抑制や就業人口の増加を促す等、地域の活力や賑わいを創出するうえで引き続き重要です。

本町は古くから農林畜産業を基幹産業として発展し、昭和39年に八戸地区新産業都市として指定されてからは、地蔵平工業団地を中心として多くの企業が誘致され内陸型軽工業の集積を図り、農工併進の町として地域産業の振興、雇用の拡大に取り組んできましたが、近年の国内外の経済情勢は不安定な状況や町内郊外への大型店の出店により、町内の産業振興、地域経済にも大きな影響があらわれています。

一方で町内では、江渡家住宅や旧圓子家住宅をはじめとする町内の歴史文化財や自然環境といった地域資源を活かした観光振興・グリーンツーリズムなど、交流と賑わいを興す様々な取り組みが進められています。

今後もこうした町内での取り組みが実を結び、本町がさらなる発展を遂げていくためには、あおり倉石牛のような農産品のブランド化、耕作放棄地対策、産業間の連携による新たな産業の創出や人材の育成、雇用の創出、消費の拡大、広域観光体制の充実等、農・商・工併進の町として総合的な取り組みが求められます。



保健・医療・福祉

誰もが元気で安心して子どもを産み育てられるまち



近年、人口の減少や少子高齢化の進行のほか、生活習慣病の増加や核家族化、ひとり暮らし高齢者の増加等の世帯構造の変化、さらには住民の価値観や暮らし方の変化等、保健・医療・福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、住民の誰もが健康を実感し、身近な地域で、健全な心と身体を持って充実した人生を過ごすことは、これからの地域社会に欠かせない条件です。

医療については、当町の五戸総合病院は総病床数167床、診療科目9科を有し、五戸地方の医療の中核を担っています。

福祉・保健については、近年の高齢化の進行による介護サービスや女性の社会進出等に伴う子育て支援への需要が高まりを受け、当町においても特別養護老人ホームやグループホームの建設、保育料の半額化や乳幼児の医療費助成等を実施しており、今後は新たな子育て支援制度に基づく子育て支援策の実施や団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けた地域包括ケア体制の構築等、制度においても大きな変革の時期を迎えています。

また、身近な地域での暮らしでは、公的なサービスだけでなく、地域住民による見守りや共に支え合う活動等、身近な地域でのきめ細やかな支援が求められます。

そのため、必要な支援を受けることができる保健・医療・福祉環境の整備とともに、住民一人ひとりが健康意識や予防意識を高め、地域ぐるみで支え合いながら、誰もが安心して暮らせる地域社会を実現していくことが求められています。



乳幼児6ヵ月健診



老人スポーツ大会



放課後児童クラブ



教育・文化



五戸の未来を創造する人と文化を育むまち



町民登山



五戸町図書館



産業と文化まつり

社会や経済が発展し、個々の暮らし方や価値観が多様化する社会において、住民が様々な機会を通じて、自身を磨く学習活動に取り組むことは、まちづくりの根幹となる地域や次代を担う人材の育成を図るとともに、住民同士の交流を深める重要な取り組みです。

本町では、倉石地区の3小学校の統合(名称：倉石小学校)や蛭川・豊間内・浅田地区の3小学校を五戸小学校に統合するなど、学校統合をはじめとする将来を担う子どもたちへの教育環境の整備を、また、各学校や地域では、少子化の中にあっても、子ども一人ひとりの個性を大切に教育への取り組みが進められています。

生涯学習や生涯スポーツにおいては、町立公民館、歴史みらいパーク(図書館)、倉石コミュニティセンター、ひばり野公園、屋内トレーニングセンター、スポーツ交流センター、倉石スポーツセンターを拠点とした生涯学習や生涯スポーツ活動に取り組んでいます。

また、地域文化においては、町内に縄文時代等の遺跡が数多く存在しているほか、古代から馬産地であり、藩政時代には代官所があった町として栄えた歴史があり、これまで先人が築いてきた貴重な郷土資料を収集し保存に努めています。

こうした生涯学習や生涯スポーツ、地域文化の継承、保存については、少子高齢化の影響もあり、今後は参加者や担い手が十分に確保できず、活動の停滞等も懸念されますが、引き続き、住民のニーズに応じた活動の実施や人材の育成に取り組み、充実を図っていく必要があります。



行財政運営

安定した行財政運営による持続可能なまち



本町では、平成16年の倉石村との合併以降も自立した行財政運営、住民協働による透明度の高い、健全なまちを目指し、財源の確保や効率的な行財政運営に取り組んでいます。

今後も多様化する行政需要に対応した行財政運営を図るために、町行政は従来にも増して、質の高い行政サービスを提供するとともに、住民と共に考え、住民参加の開かれた行政の推進や信頼される職員を育成するとともに、行財政基盤の安定化を図り、次の世代への活力を築くことが重要です。

そのほか、生活圏の拡大、地域課題や社会ニーズが複雑化・多様化する中で、本町では、八戸地域広域市町村圏事務組合を構成する8市町村（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）が、八戸圏域定住自立圏を形成し、それぞれの地域特性や魅力を磨き、互いに有する機能を有機的に連携させ、広域的に施策を展開しています。

本構想において、本町は、中心市である八戸市と医療・福祉・産業振興等、8の政策分野について定住自立圏形成協定を締結しています。



プレミアム商品券



コミュニティバスを利用する子どもたち



まち・ひと・しごと創生会議



住民協働・地域活動



五戸の未来を共に考え行動する共創(協創)のまち



カジダン・カジジョ支援講座



バヨンボン訪問団来町



沃川郡への訪問

少子高齢化、ひとり暮らし高齢者の増加等、時代の変化によって地域の課題や住民の価値観、要望も多様化しており、今後の人口減少等に伴う集落機能の低下をはじめとした複雑化する地域の課題に対して効果的に対処していくためには、これまでの行政の役割を見直したり、住民の自発的な取り組みを促進していくことがますます重要になってきています。

こうした中で、本町では住民参加の開かれた行政を目指し、「五戸町まちづくり基本条例」を制定し、集落ごとに地域づくり活動に取り組んでおり、活動のさらなる推進に向けて、住民参加や協働の推進の在り方等について、知恵を出し合いながら、住民と行政が互いを良きパートナーとして協働によるまちづくりをさらに推進していくことが求められています。

また、こうした協働によるまちづくりや地域コミュニティ活動を担う人材の育成を図るとともに、近隣市町村との地域間交流の活発化や昭和58年にフィリピンのバヨンボン町、平成9年に韓国の沃川郡と姉妹都市締結しており、国際化に対応した様々な分野での交流、さらには地域や家庭で男女がお互いの権利を尊重しながら協力し、支え合える男女共同参画社会を築いていく必要があります。



行政



多様化、個性化が進む現代にあって行政への要望は、複雑多岐にわたり、ますます高度化してきています。本町は、町民の皆さんのニーズを的確に判断し、施策に反映させ、「豊かで住みよい町づくり」を推進していきます。

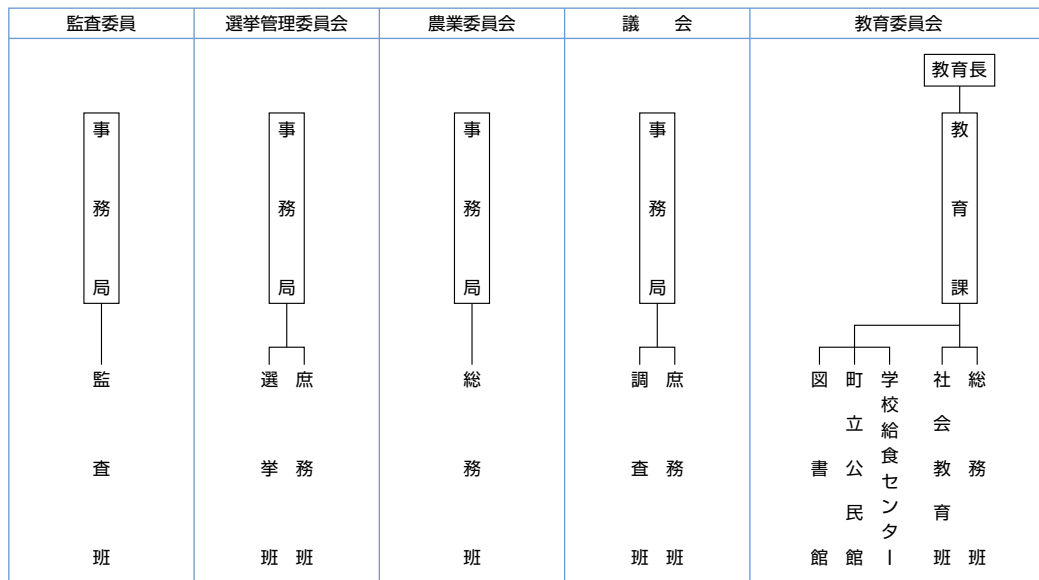
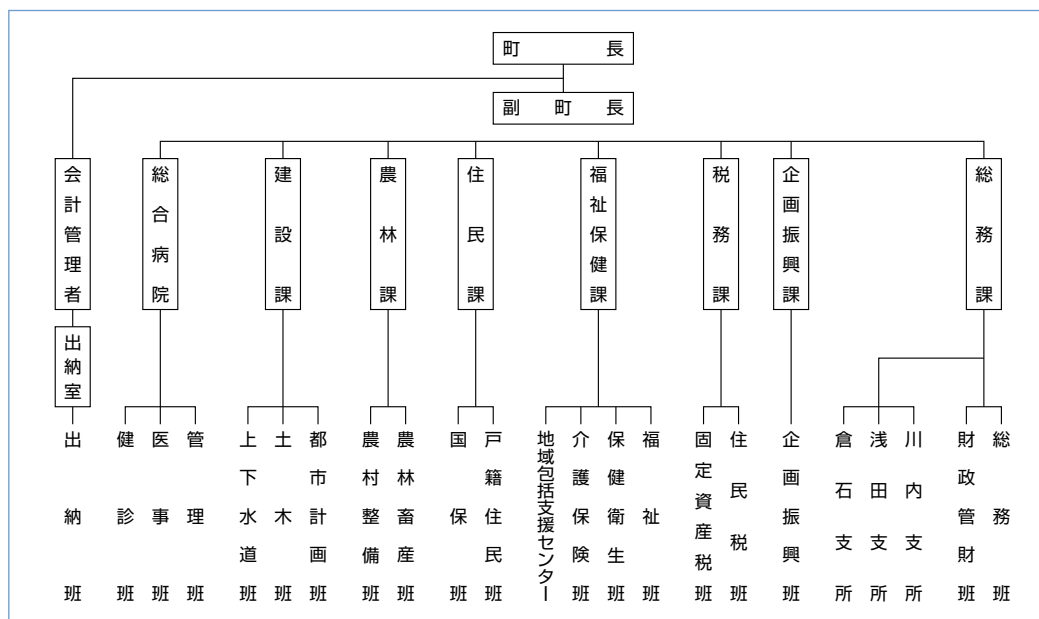
行政組織図



町長 三浦 正名



副町長 烏谷部 禮三郎





議 会



町議会は、町民の皆さんの声を町政に反映させ、具体的な施策を最終的に決定する、町的意思決定機関です。そして、決定した施策に基づく町政運営がスムーズに行われているかをチェックする期間でもあります。その運営は、住民選挙により選ばれた議員により行われています。定例会は、年4回行われるほか、必要に応じて臨時会が開かれます。

また、委員会は、総務、経済、民生の三つの常任委員会から成り立っており、議会における審査機関として町政全般にわたり業務の調査や審査を行っています。

五戸町議会議員名簿 (議席順) 【任期】平成24年2月29日～平成28年2月28日



議長 和田 寛司



副議長 大沢 博

議席番号	氏名
1	和田 寛司
2	大沢 博
3	大久保 均
4	高山 浩司
5	根森 隆雄
6	鈴木 繁盛
8	若宮 佳一
9	尾形 裕之
10	松山 泰治
11	川村 浩昭
12	沢田 良一
13	古田 陸夫
14	三浦 専治郎
15	中川原 賢治
16	中里 公志郎
17	柏田 雅俊
18	三浦 俊哉

ごのへ 議会だより
Gonohe Assembly News
第30回定例会(平成27年6月定例会)
第29回臨時会 2 一般質問(2人) 4
第30回定例会 2 議案後記 8
第31回臨時会 3
議会広報
平成27年8月
第16号

主催：五戸町議会
〒029-1613 青森県三戸郡五戸町字古賀1番地1 TEL. 0178-(82) 2111 FAX. 0178-(82) 6217
編集：広報実行委員会 五戸町ホームページアドレス http://www.town.gonohe.aomori.jp/ 編集メールアドレス gonohe@town.gonohe.aomori.jp



夢の森ハイランドの現状を視察

施設・文化財



歴史みらいパーク



小渡平公園



ひばり野公園



槍沢の枝垂れ桜



ひばり野ダリア園



正子のチューリップ園



桜沼公園



夢の森ハイランド



ふれあい市ごのへ



五戸まきば温泉



五戸温泉(たんぼのゆっこ)



倉石温泉



江渡家住宅(国指定重要文化財)



五戸町消防団第一分団屯所(青森県重宝)



旧圓子家住宅(青森県重宝)



寶福寺(青森県指定文化財)



新山神社



倉石焼松月窯 陶花苑

特産品



馬肉料理



倉石牛



青森シャモロック



菊駒



如空



アピオス



りんご(紅玉)



長いも



にんにく



自慢の特産品

五戸町民憲章

- 一、私たちは、郷土を愛し清潔で美しい町をつくります。
 - 二、私たちは、心と体をきたえ健康で明るい町をつくります。
 - 三、私たちは、善意をひろめ人情あつく温かい町をつくります。
 - 四、私たちは、生きがいを持ち豊かで活力のある町をつくります。
 - 五、私たちは、伝統を重んじ教育と文化のかおる町をつくります。
- (昭和59年8月30日制定)



町章

五戸の五と戸を組み合わせ、動勢を加えて単純に
図案化し、団結・町の発展を象徴しています。
(昭和36年7月1日制定)

■町の木



オンコ(イチイ)

イチイ科の常緑針葉樹。材は優秀で、
建材・家具・彫刻などに用いられ、当地
方では古くから生垣や床柱として利用
されています。
呼び方の“オンコ”はアイヌ語からでた
ものと言われています。
(昭和50年7月1日制定)



赤松

赤松は、この地方の風土に適した常緑
針葉樹で、古くから建築用の木材として
利用されている他、観賞用の庭木や盆栽等
に広く愛用されています。
(平成16年7月1日制定)

■町の花



キク

キクは、東洋の最も古い観賞植物で、
当地方には隆盛期の江戸時代に伝わって
きたと思われます。観賞用として受け
継がれている五戸菊と称するものが数種
あります。
(昭和50年7月1日制定)

■町の鳥



白鳥

白鳥は、数年前から飛来してきており、
非常にめでたいものとされています。羽数は
まだ少ないものの、もっと飛来してくる
ような自然豊かな町にしていきたいとい
う願いを込めています。
(平成16年7月1日制定)

五戸町勢要覧

GONOHÉ

TOWN PROFILE

ГОНОНОЕ